

令和3年度 事業所による自己評価集計結果（公表）

事業所名： 児童発達支援センターすみれ園 放課後等デイサービス

	チェック項目	工夫している点、課題や改善すべき点等
環境・体制整備	① 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> ○お子さんが自分で確認できる位置に、写真カード等の配置。 ○利用するお子さんに合わせた部屋配置。
	② 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	<b>【工夫している点・課題点】</b> ○感染症対策で予防対策として、支援前と支援後の消毒、職員の健康管理等に努めた ○活動後の片付け・整頓
業務改善	③ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、幅広く職員が参画しているか	<b>【工夫している点】</b> ○どのように実践につなげるか、振り返り、再試行の過程を職員と考えていきたい。 ○個人での業務、計画はできているが、全体での参画については、課題有。
	④ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<b>【工夫している点・改善点】</b> ○保護者評価やアンケートを受け、保護者の方の考えを受け止め、次年度につなげたい。
	⑤ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	<b>【工夫している点】</b> ○オンライン研修を活用して、研修を受けたり、伝達研修を行うことができた。 ○年二回の法人研修 <b>【改善点・課題点】</b> ○今後の研修計画について（内部研修は計画に入れる）
適切な支援の提供	⑥ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> ○策定会議の中で、お子さんの現状の共有やニーズ把握に努めている。（他職員の意見・視点が大切）
	⑦ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> ○個別対応については、困り感のある場合の背景等をとらえ、努めてきた。
	⑧ 保育終了後には、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有しているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> ○コロナの影響で、集団活動の難しさを感じたが、感染対策を行いながらも大切にしたい。 ○日課計画等で、他職員との気づきや考えを共有するようにしている。継続していく。
	⑨ 日々の支援に関する記録を徹底し、支援の検証、改善につなげているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> ○一日の振り返りを個人、職員集団で行う。

関係機関や保護者との連携	⑩	移行支援として、保育所、幼稚園、特別支援学校等との間で支援内容の情報共有と相互理解を図っているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> <input type="checkbox"/> 学校担任との連携に努めた。 <input type="checkbox"/> 相談員との連携に努めた。 <input type="checkbox"/> 学校、地域との繋がりは今後も必要。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っているか	<b>【工夫している点・課題点】</b> <input type="checkbox"/> 保護者の方やお子さんの安心につながるように、工夫や検討が必要な点がある。 <input type="checkbox"/> 保護者の方にもわかりやすいようにお伝えすることに努めていく。